

瑞宝双光章 危険業務従事者叙勲を受賞されました



橘義廣さん(東野添)

橘さんは、昭和34年から平成9年まで37年間の長きにわたり、兵庫県警に奉職されました。主に交通安全教育や、交通規制、取り締まりなどに尽力されました。その後、青色パトロールの防犯活動にも携わっておられました。今までの経験を生かして地域の力になりたいとお話されました。

仁木巧さん(東野添)

仁木さんは、昭和32年から平成10年まで40年間の長きにわたり兵庫県警に奉職されました。地域課や生活安全課などに携わり、捜査1課の経験もされました。大変な時期もあったが、まじめにやってきたことが認められてとてもうれしいですとお話されました。

播磨町と朝来市の子どもたちが1泊2日の交流〜夏休み子どもチャレンジ教室〜

7月26〜27日、播磨町と朝来市の小学生と一緒に楽しむ体験活動「チャレンジ教室」がスポーツクラブ21はりま主催で実施されました。

参加した子どもたちは、宿泊したさのう高原の空気が播磨町よりも涼しかったこと、苦勞して捕まえたあまごを塩焼きにして食べたことを、元気いっぱい話してくれました。播磨町に戻ってからの手打ちうどんづくり(表紙写真)や、県立考古博物館でのまが玉づくりなど、友達とたくさん体験をしてすごしました。



▲水路でアマゴをつかみどり

全国大会を目前に、播磨南中学校陸上競技部の選手が表敬訪問



▲全国大会に出場する播磨南中学校陸上競技部の選手

中学陸上全国大会(第38回全日本中学校陸上競技選手権大会)が奈良県で8月19日〜22日に開催されました。出場が決まった6人のメンバーは、播磨

南中学校3年生と2年生で、大会を前に町長を表敬訪問しました。井谷君は「ベスト8を目指します」と力強く意気込みを語ってくれました。部活のことや将来のことを話したのち、町長は全員と握手を交わし、大会に向けてみんなを激励しました。

- 全国大会出場選手氏名と種目
- 元川 卓也君 110メートルハードル
 - 井谷 寛 君 棒高跳び
 - 田淵 貴志君 4種競技、110メートルハードル
 - 西田 侑加さん 4種競技
 - 荒木 志帆さん 4種競技、走り高跳び
 - 西田 恵 さん 4種競技

全播磨硬式野球団(オールはりま)の中学生チームが全国大会出場



▲清水町長を囲んで全播磨硬式野球団の選手

全播磨硬式野球団は、播磨町を拠点とする中学生の硬式野球チームです。7月23日〜25日開催の第19回全国ヤングリーグ選手権大会及び8月8日〜12日開催の第5回全日本中学野球選手権大会(ジャイアンツカップ)に2年連続3回目の出場を目前にして町長に表敬訪問しました。主将の戒井翔紀君は「優勝を目指してチーム一丸となって頑張りたい」と力強く抱負を語ってくれました。

播磨ふれあいの家 だより



◀「福島ひまわり里親プロジェクト」に参加しています!

放射能で汚染された土地を「ひまわり」が救います

福島原発から出る放射能で、多くの田畑、土壌が放射能にむしばまれています。私たちは会社ぐるみで少しでもお役に立てたらと思い、このプロジェクトに参加しました。福島からひまわりの種を買って育て、夏には大輪の花を咲かせるそのひまわりの種を再び福島県に送り、汚染された土地にひまわりを植えて放射能を除去するのです。

当施設からは少し離れていますが、社員の休耕田をお借りしてみんなで種植えをしました。

▶予約・問合せ ☎079(678)1481

わんぱくはりまっ子



さきき はる 佐伯 陽音くん(1歳)、かなと 奏くん(4歳) 北野 添

ふたりとも元気に播磨町で育っています。これからも楽しく元気に育ってほしいです。パパ・ママより

楽屋裏

9月15日(木)〜30日(金)まで、BAN・BANテレビの行政広報番組で、いきいきセンターを紹介しています。(p11参照) 高齢者向けの運動について、老化は誰にでもあるものだけれど、老化のスピードを遅くすることは運動によって可能だというお話を伺いました。激しい運動でなくても、効果的な運動をすることが大切だそうです。運動をする習慣のある人は、いつまでも若々しい。これは高齢者に限らないそうです。私もサボることなく、運動を続けたいと思います。(宮)

いいね! はりま

町政 レポート No.56



▲町長室を訪問された播磨南中学校陸上競技部の皆さん

立秋を過ぎると、少しずつ秋の気配が漂い始めました。今年の夏は、震災復興、原発への対応、国政の混乱、なでしこジャパンの活躍など話題も多く、いろんな意味で例年以上に暑く感じられた夏でした。そんな中、緑のカーテン、すだれ、打ち水、クールスポットへのおおかけなど、皆さまの節電対策はいかがだったでしょうか。

◆夏は中学生の全国大会が多く開催されます。今年も町内の中学生たちが、全国大会への切符を手に入れました。7月14日には、播磨南中学校の陸上競技部の生徒さんたち6人が表敬訪問され、全国大会にむけての意気込みを語って下さいました。毎年全国大会出場選手を輩出している南中でも一挙に6人出場は快挙です。本人の実力はもとより、よき指導者に恵まれ、ご家族やまわりの方々のご理解があってこそと思います。また、7月21日には全播磨硬式野球団(中学部)が表敬訪問されました。全日本中学野球選手権大会(ジャイアンツカップ)に出場される選手たちも凜々しいさわやかな少年たちでした。それぞれのご健闘を祈ります。

◆昨年は、交通事故による死亡者が町内で6人発生し緊急事態となりました。こうした事態を受けて、昨年7月28日には交通死亡事故多発注意報を発令し、加古川警察のご協力を得て、庁舎前で交通事故抑止隊発隊式を行いました。その後、啓発活動や交通安全教室など、住民の方々へ交通安全を呼びかけたこともあり、この1年間の死亡事故はゼロ。死亡事故抑止期間が前回の発生から、300日を経過したことから、このたび県の交通安全対策委員会会長より「交通安全功労表彰」をいただきました。ただ、東播磨地域では、現在、交通死亡事故が多発していますので、くれぐれも交通安全に心がけていただくようお願いします。

播磨町長 清水ひろ子